

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年度～			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり
	小項目	施策	01 文化芸術の振興
事務事業名			04 吉永美術館管理運営事業
根拠法令・例規等			備前市吉永美術館設置条例
担当課(室)			生涯学習課
職・氏名			主査 光友公昭
電話			84-3839
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方
目的 (何のために)	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸ギャラリーとしての貸館業務を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	郷土の歴史や文化についての理解・認識を深める。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	吉永美術館管理運営事業	施設の運営・維持管理・貸館業務	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費		808	648	1,529
	必要人員(人) 人件費	千円	0.07人 567	0.02人 182	0.06人 581
事業費計			1,375	830	2,110
決算額	国県支出金				
	受益者負担金		24	24	
	繰入金	千円			
	市債				
その他( )					
一般財源			1,351	806	2,110
受益者負担比率		%	1.7%	2.9%	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
吉永美術館の一年間の入館者数		説明 入館者数			
結果指標	結果指標	量	645	682	476
	対前年比	%	-	105.7%	69.8%
	活動コスト	円	1,375,000	830,000	2,110,000
	単位当たりコスト	円	2,132	1,217	4,433

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
年間入館者数	目標値(A)	900	900	700	700
	実績値(B)	645	682	476	到達目標値
	達成率(B/A)	71.67%	75.78%	68.00%	700
成果指標設定の考え方・式や説明					
吉永美術館の利用者数					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 <A-E> <b>C</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> <b>D</b>
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

が事業の目的やその数値目標を評価しな

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	全4回の所蔵展を企画。今後PRしていく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
美術館としての機能は利用客数の現状を考慮すると閉鎖もやむを得ない状況である。だが、郷土歴史資料の適切な保管を行うところが他になく、市が責任をもって管理運営し郷土の財産として後世に伝えていく事が必要。	評価区分 <A-E> <b>D</b>	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	利用者数の増加を図りながら、引き続き維持管理を行う。					

Action